



株式会社 ジェイ・エム・エス

<http://www.jms.cc/>

証券コード 7702

2014年(平成26年) 3月期 第2四半期

2013年(平成25年) 4月1日 ~ 2013年(平成25年) 9月30日

連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

第2四半期 2013年(平成25年)9月期 — 4期連続増収も減益 —

(%表示は、対前期増減率)

売上高 25,714百万円(7.4%増)

売上高	【国内】 -輸液輸血関連製品・医療用手袋の販売が堅調に推移
	【海外】 -成分献血用回路の販売が好調に推移 -誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加 -円安による為替換算が影響

営業利益 196百万円(80.3%減)、経常利益 444百万円(62.5%減)、四半期純利益 200百万円(71.7%減)

利益	-労務費の増加に加え、運送費や手数料等の販売費が増加
----	----------------------------

通期連結業績予想の修正

上半期の実績を踏まえ、通期連結業績予想を下方修正。

連結経営成績



— 増収減益（4期連続増収も減益） —

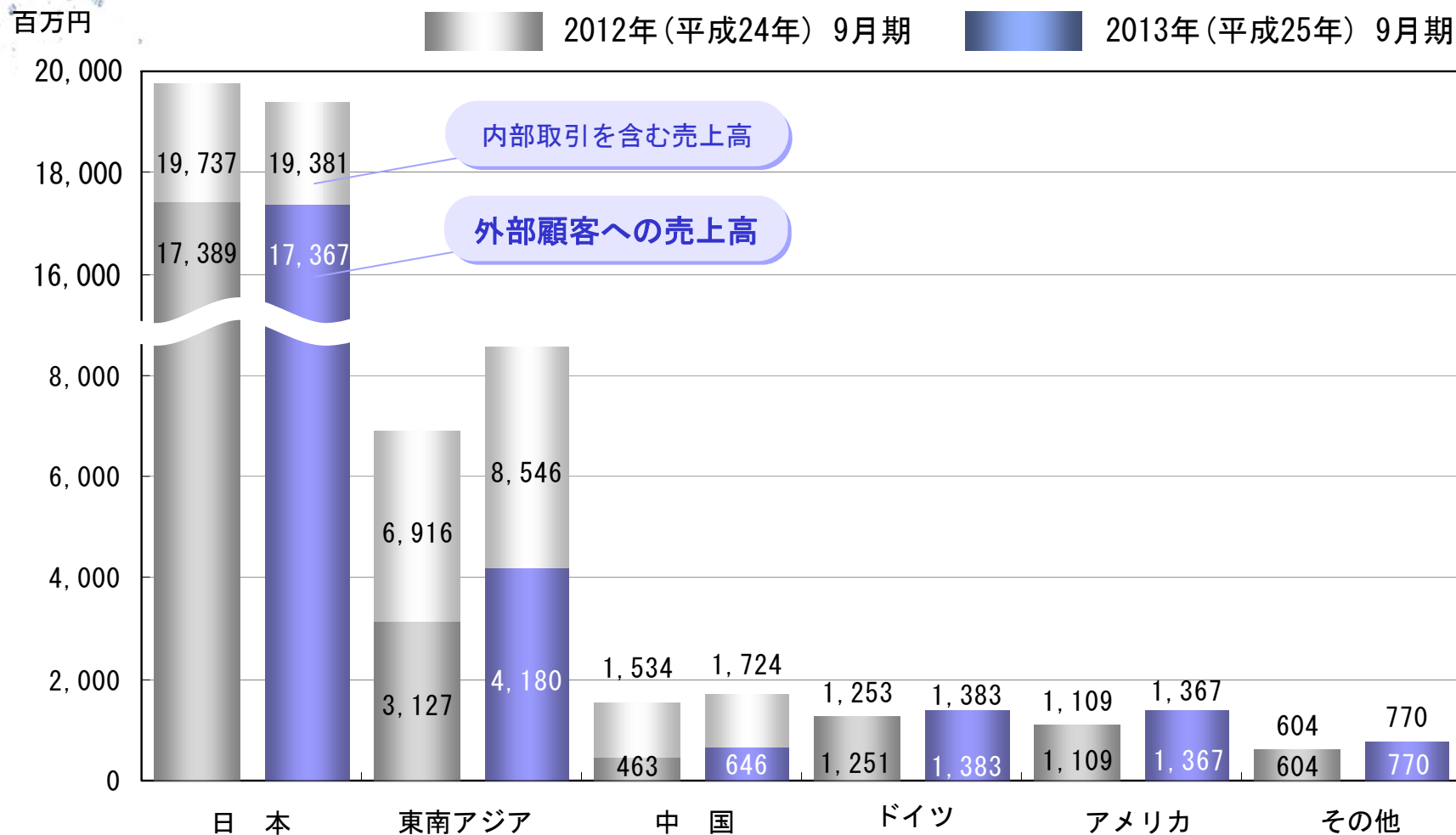
百万円

	2012年(平成24年)	2013年(平成25年) 9月期		対前期 増減率	対予想 増減率
	9月期 実績	前回発表予想	実績		
売上高	23,946	25,000	25,714	7.4%	2.9%
営業利益	994	1,000	196	△80.3%	△80.4%
経常利益	1,185	1,050	444	△62.5%	△57.7%
四半期純利益	709	650	200	△71.7%	△69.2%
一株当たり 四半期純利益	16.45円	13.33円	4.12円	---	---

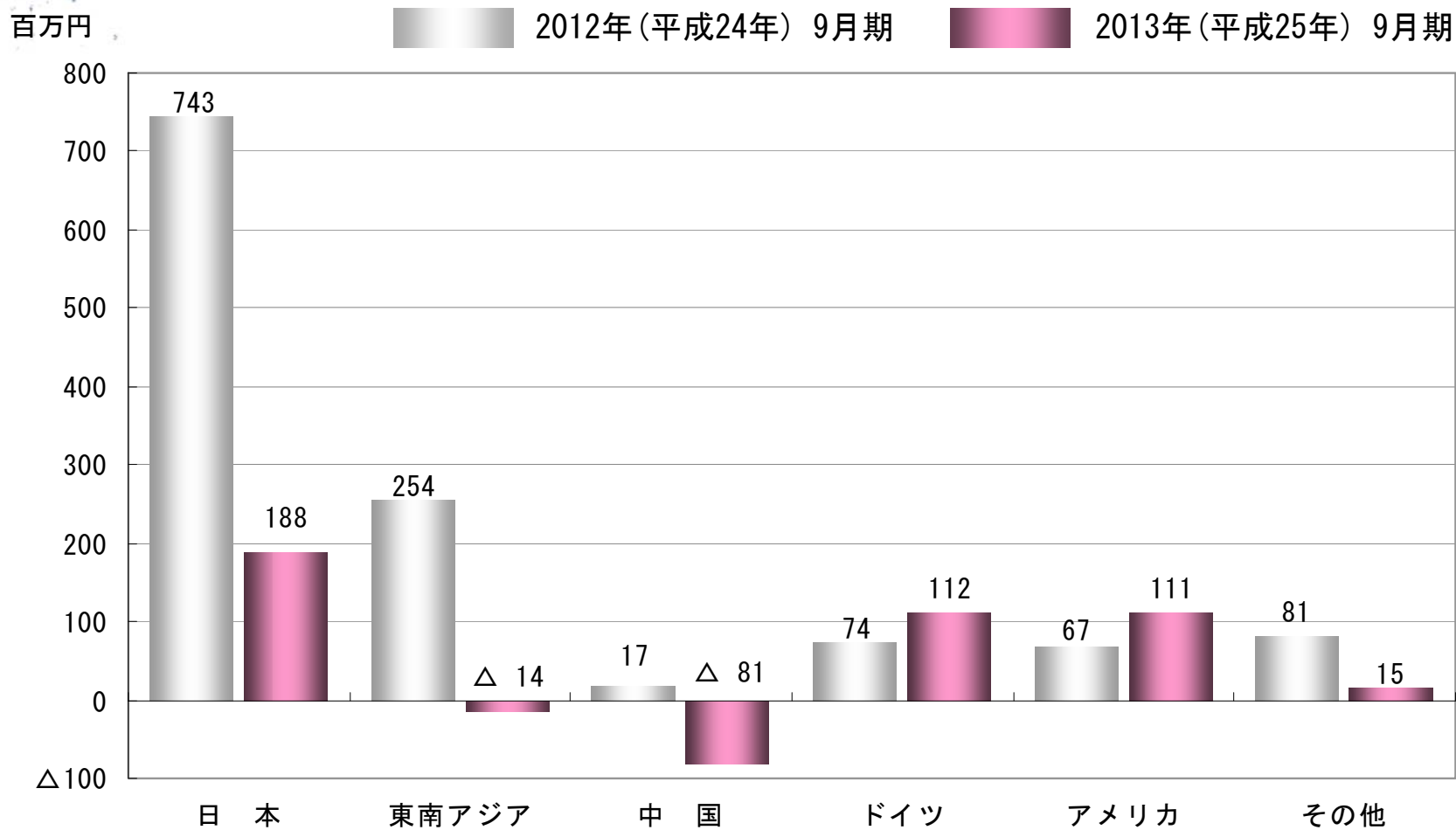
為替換算レート（期中平均）

US\$	79.41円	95.00円	98.85円	---	---
ユーロ	103.45円	120.00円	125.50円	---	---
シンガポールドル	63.23円	75.00円	78.55円	---	---

セグメント業績・売上高



セグメント業績・利益



セグメント業績



対前期増減率



日本

売上高	19,381 百万円	△1.8%
セグメント利益	188 百万円	△74.7%

輸液輸血関連製品や医療用手袋の販売は堅調に推移したものの、血液透析装置及びその付属機器の販売が減少。



東南アジア

売上高	8,546 百万円	23.6%
セグメント損益	△14 百万円	—

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が減少したものの、米国向けの成分献血用回路の販売が引き続き好調に推移。



中国

売上高	1,724 百万円	12.3%
セグメント損益	△81 百万円	—

日本向けの輸液セットの販売が減少したものの、欧米向け及び中国国内向けのAVF針の販売が引き続き伸長。



ニードルレスアクセスポート「プラネクタ」付輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。



医療用手袋（手術用、検査・検診用）

手術や検査などを行う際に使用される手袋です。天然ゴム製のほか、ラテックスアレルギーを持つ方々のために合成ゴム製も取り揃えています。

セグメント業績



対前期増減率



ドイツ

売上高	1,383 百万円	10.3%
セグメント利益	112 百万円	51.8%

ドイツ国内向けの血液浄化関連製品の販売が堅調に推移。



アメリカ

売上高	1,367 百万円	23.3%
セグメント利益	111 百万円	63.8%

北米向けの誤穿刺防止機構付翼状針の販売が引き続き増加。



その他

売上高	770 百万円	27.5%
セグメント利益	15 百万円	△80.7%



AVF針（血液透析用針）

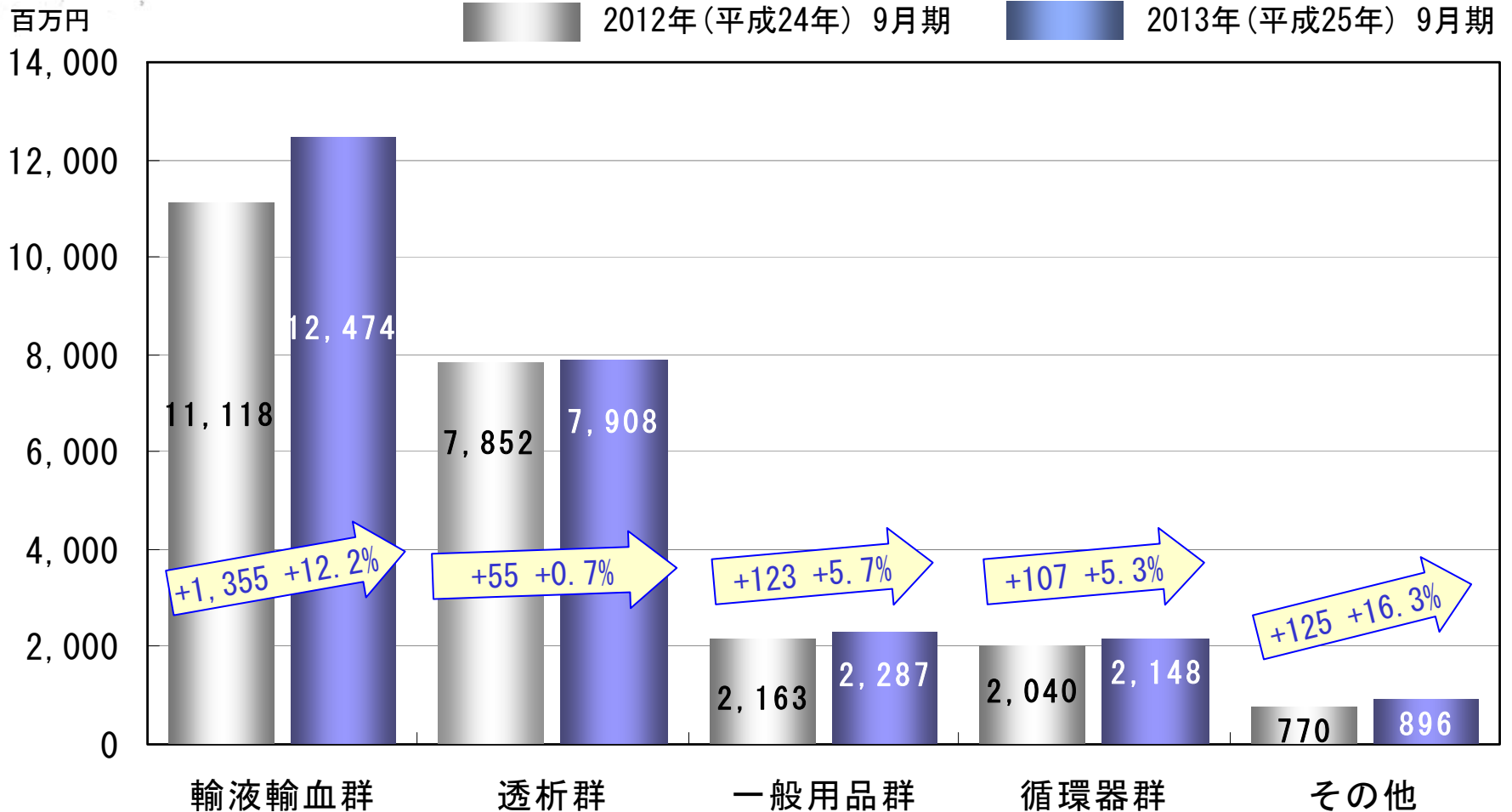
血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。



誤穿刺防止機構付翼状針

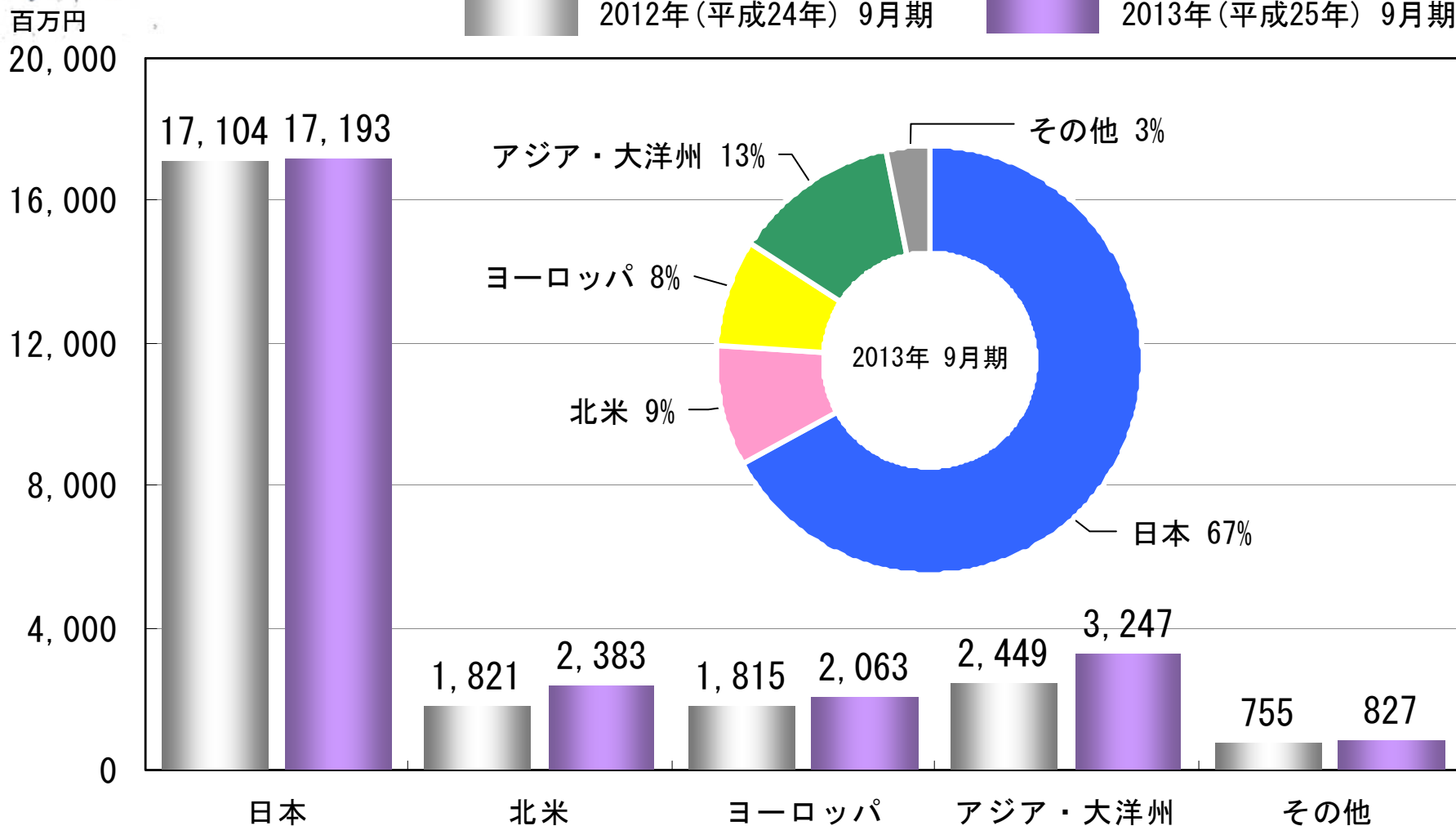
静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。

システム別売上高

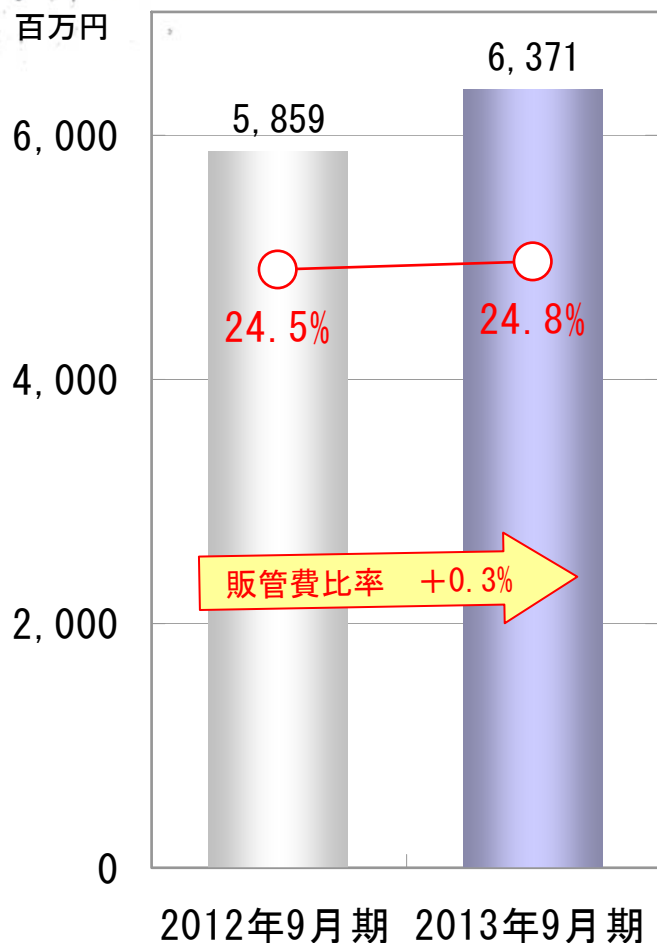


地域別売上高

(顧客所在地別)

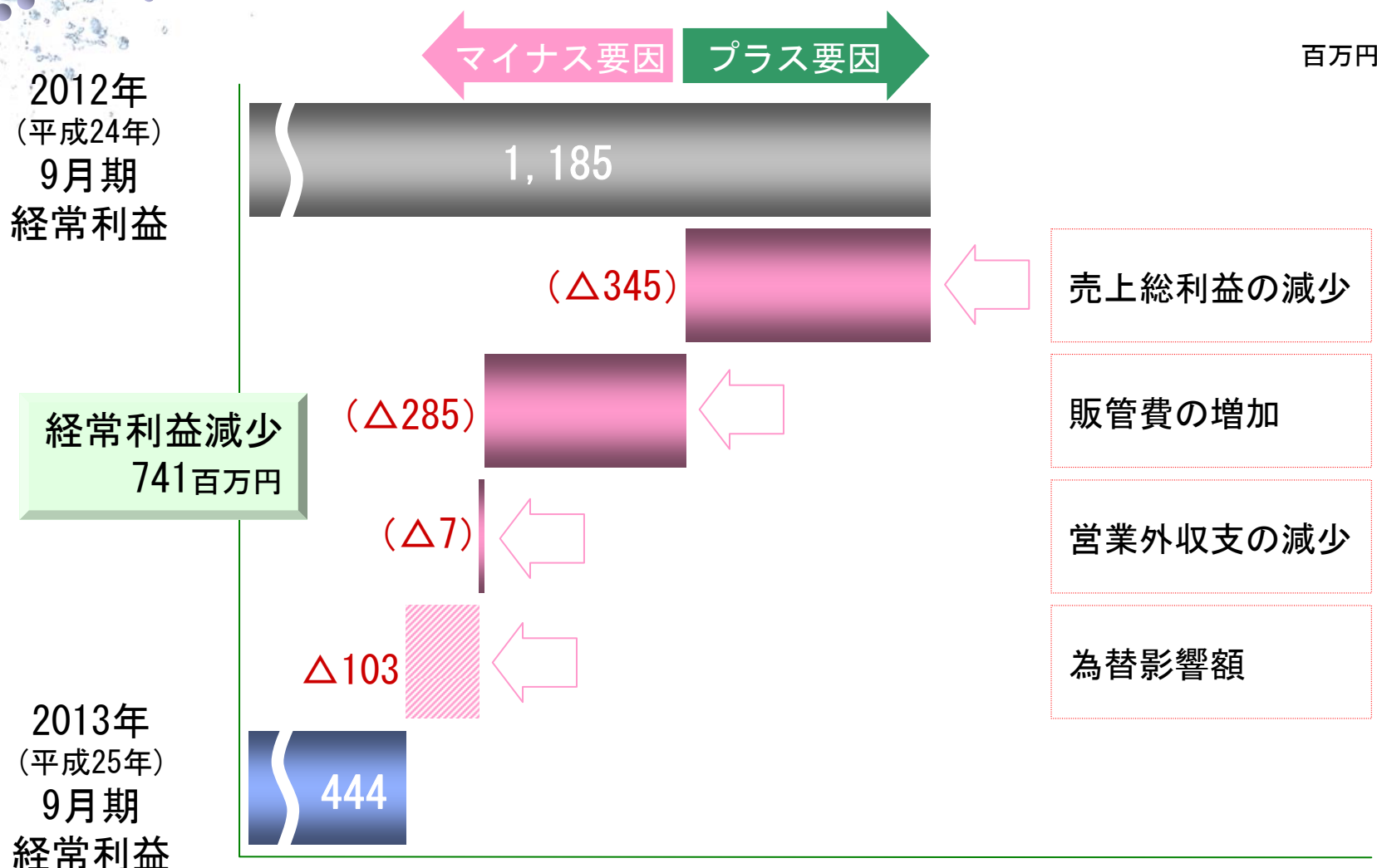


販売費及び一般管理費



	2012年 (平成24年) 9月期	2013年 (平成25年) 9月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	2,621	2,797	175	6.7%
運 送 費	689	790	101	14.7%
研究開発費	610	585	△25	△4.1%
減価償却費	167	196	28	17.3%
そ の 他	1,770	2,001	231	13.1%
計	5,859	6,371	511	8.7%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

2014年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2013年(平成25年)	2014年(平成26年) 3月期		増減率
	3月期 実績	前回予想	今回予想	
売上高	49,068	51,500	52,500	1.9%
営業利益	1,594	2,100	1,000	△52.4%
経常利益	1,879	2,300	1,200	△47.8%
当期純利益	1,277	1,400	600	△57.1%
一株当たり純利益	29.41円	28.70円	12.30円	---

為替換算レート (期中平均)

US\$	83.10円	95.00円	97.00円	---
ユーロ	102.63円	120.00円	127.00円	---
シンガポールドル	66.88円	75.00円	79.00円	---

当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回公表した2014年3月期の通期連結業績予想を下方修正しました。

※日付:プレスリリース開示日

- 舌トレーニング用具「ペコぱんだ」販売開始

2013年(平成25年) 9月27日

舌トレーニング用具
「ペコぱんだ」



- A E D (自動体外式除細動器)

「ジェイパッドCU-SP1」販売開始

2013年(平成25年) 9月20日

A E D (自動体外式除細動器)
「ジェイパッドCU-SP1」



- 医療用弾性ストッキング 「レッグサイエンス舞」 販売開始

2013年(平成25年) 6月27日

ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気を与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となって専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。